

# ウエスト・サイド物語 (1961)

WEST SIDE STORY

**メディア** 映画**ジャンル** ミュージカル ドラマ 犯罪**製作国** アメリカ**色彩** Color**時間** 152分**初公開日** 1961/12/23**公開情報** U A**映倫** G

1972/08 [U A]

1973/06 [U A]

**リバイバル** 1974/11 [U A]

1975/06 [U A]

2002/12/28 [シネカノン]

## 【キャッチコピー】

ニューヨークから世界中に熱狂と興奮をまきちらしたダイナミックな迫力！最高・最大のミュージカル！

(2002年リバイバル時)

ダンス、音楽、永遠の青春——すべてのエンターテインメントの原点がここに！

## 【解説】

ニューヨークの下町を舞台に、イタリア系のジェット団とプエルトリコ系のシャーク団の無益な抗争と、その中で芽生える愛と悲劇を描いたミュージカル大作。『ロミオとジュリエット』の構図をウエストサイドのスラム街で展開させたストーリーはシンプルだが、とにもかくにも唄と踊りのダイナミズムに圧倒される（振り付けは共同監督でもあるロビンス）。『クール』『トゥナイト』『アメリカ』など数々の名曲も素晴らしい、アカデミーでは作品・監督・助演男優（G・チャキリス）・助演女優（R・モレノ）・撮影・美術・音響・編集・衣装デザインの他、当然ながらミュージカル映画音楽賞を受賞した。そして何より、マンハッタンを見下ろした俯瞰図の導入部を始めとした、70mmの大画面を活かしきった画面構成が光っている。ソウル・バスによるタイトル・デザインも秀逸だ。2002年に<ニュープリント・デジタルリマスター版>としてリバイバル上映された。

## 【クレジット】

<b>監督</b>	ロバート・ワイズ ジェローム・ロビンズ	Robert Wise Jerome Robbins
<b>製作</b>	ロバート・ワイズ ソウル・チャップリン	Robert Wise Saul Chaplin
<b>原作</b>	ジェローム・ロビンズ アーサー・ローランツ	Jerome Robbins Arthur Laurents
<b>脚本</b>	アーネスト・レーマン	Ernest Lehman
<b>撮影</b>	ダニエル・L・ファップ	Daniel L. Fapp
<b>編集</b>	トーマス・スタンフォード	Thomas Stanford
<b>音楽監督</b>	ジョニー・グリーン	Johnny Green
<b>作曲</b>	レナード・バーンスタイン	Leonard Bernstein
<b>音楽</b>	アーウィン・コスタイル	Irwin Kostal

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています。

データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。

Copyright (C) 2025 Stingray. All Rights Reserved.

	シド・ラミン	Sid Ramin	
タイトルデザイン	ソウル・バス	Saul Bass	
出演	ナタリー・ウッド	Natalie Wood	マリア
	リチャード・ベイマー	Richard Beymer	トニー
	ジョージ・チャキリス	George Chakiris	ベルナルド
	リタ・モレノ	Rita Moreno	アニタ
	ラス・タンブリン	Russ Tamblyn	リフ
	タッカー・スマス	Tucker Smith	アイス
	デヴィッド・ウィンターズ	David Winters	
	トニー・モルデンテ	Tony Mordente	
	サイモン・オーカーランド	Simon Oakland	
	ジョン・アスティン	John Astin	
	ネッド・グラス	Ned Glass	